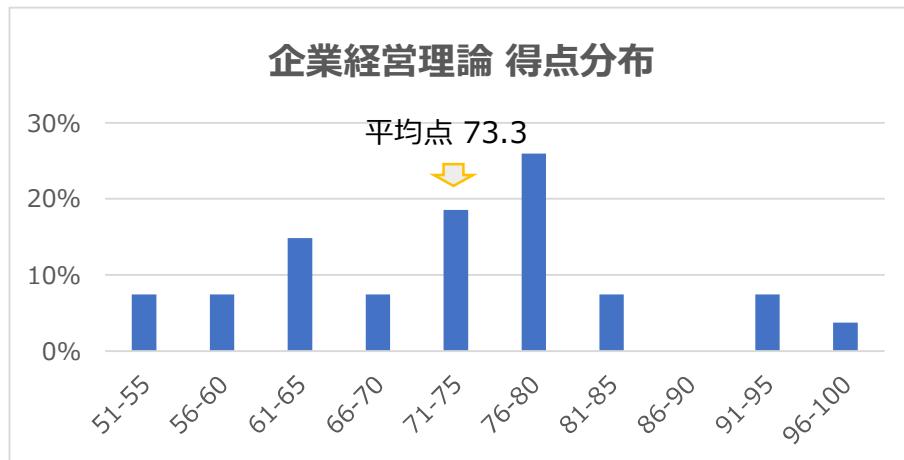


# 一発合格まとめシート チェックテストマラソン 2023 データ&総評

## ＜企業経営理論＞

### 1. データ

平均点：73.3 点



### 2. 正答率の低かった問題と復習のポイント

第8問	正答率41%	コトラーの競争地位別戦略は、ポーターの競争戦略と比較すると出題頻度は落ちますが、2次試験でも問われる重要な論点です。まずはまとめシートの図を参考にしそれぞれの立ち位置の特徴をしっかりと頭に入れておきましょう。
第24問	正答率37%	OJT、Off-JTなどの能力開発は2次試験でも問われる重要な論点です。まずはそれぞれの目的とメリット、デメリットを理解し覚えるようにしましょう。
第26問	正答率44%	労働関連法規は1次試験のみで問われる分野で、細かい数字も多いため暗記色が強いといえます。そのため、あまり深入りせずに試験2ヶ月前を目途にまとめシートで扱っている基本的な箇所を覚えるようにしましょう。
第40問	正答率19%	チャネル戦略自体は2次試験でも問われる重要な論点ですが、本問のパッケージングについては、頻出論点ではないためまとめシートで扱っている基本用語に絞って効率よく覚えるようにしましょう。

### 3. 総評

第1回目となる企業経営理論のテスト参加、お疲れ様でした。この時期から計画を立てて1次試験までスケジュール通りに進めていくことは非常に重要です。適宜計画を見直しながら8月の1次試験、10月末の2次試験まで学習を進めてください。

企業経営理論のチェックテストについては、平均点73点と基本的な箇所はしっかりと理解されている結果になりました。論点別では以下の通りです。

＜戦略論＞論点自体は難しいですが、チェックテストはまとめシートの内容に沿った基本的な問題になっているため、全体的な正答率は高い傾向にありました。

＜組織論＞労働法規は1次試験のみで出題されますので、あまり深入りはせずに暗記と割り切り試験前にまとめシートに掲載の箇所を中心に覚えるようにしましょう。

＜マーケティング＞戦略論と比較すると、全体的な正答率はやや落ちました。論点自体の難易度は高くなく、かつ普段耳にする言葉も多いため、対応するキーワードをセットで覚えるなどして得点源にしていきましょう。

以上

<参考資料>

問題ごとの正答率

問題番号	正答率
1	9
2	7
3	9
4	8
5	8
6	7
7	6
8	4
9	8
10	8
11	9
12	5
13	9
14	6
15	8
16	8
17	6
18	7
19	9
20	5
21	5

問題番号	正答率
22	7
23	5
24	3
25	7
26	4
27	8
28	5
29	7
30	7
31	8
32	9
33	8
34	7
35	5
36	9
37	7
38	7
39	7
40	1
41	7
42	8

※正答率の表記について

0~10%台	1
20%台	2
⋮	⋮
90%以上	9

※問 20 の選択肢イに誤りがございました。 申し訳ございません。

詳細は「正誤表」タブよりご確認ください。

<https://www.matome-sheet.com/seigo/>